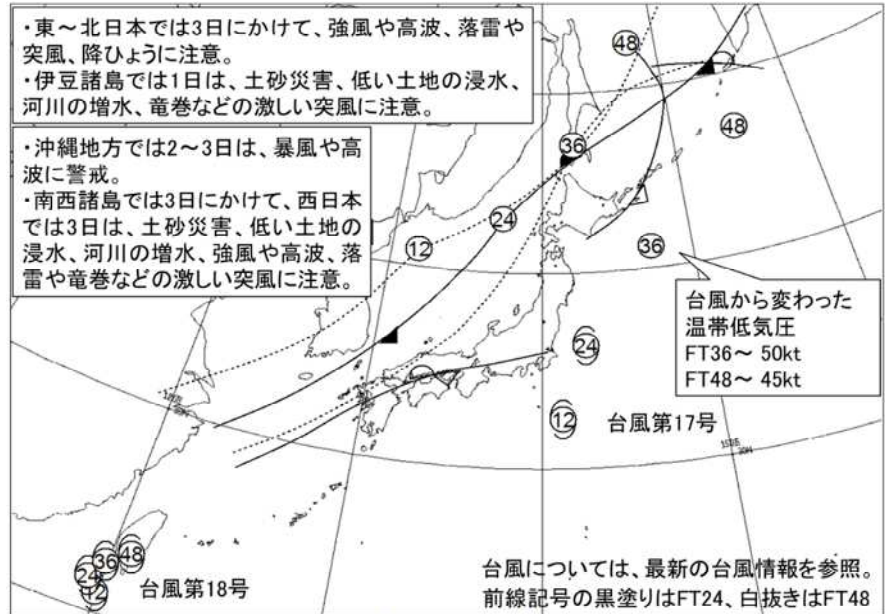


1. 実況上の着目点

- ① 大型で非常に強い台風第18号がバシー海峽付近を西進。台風周辺の下層暖湿気が流入し、南西諸島では雷を検知し激しい雨を解析。また、先島諸島では、やや強い風が吹き、うねりを伴いしけとなっている所がある。
- ② 台風第17号が日本の東を北上。伊豆諸島や小笠原諸島では、強い風が吹き、しけとなっている所がある。また、台風周辺の下層暖湿気が流入し、伊豆諸島及び関東の東では激しい雨を解析。
- ③ 低気圧がオホーツク海にあって、東北東進。前線が日本海、朝鮮半島を通過して、華北にのびている。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の台風は、2日夜には台湾付近に、3日には先島諸島付近に進む。南西諸島では、台風周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、非常に強い風が吹き、大しけとなる所がある。沖縄地方では2～3日は、暴風やうねりを伴った高波に警戒。南西諸島では3日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風や高波、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。また、西日本では3日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、強風や高波、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の台風は、日本の東を北上し、2日朝までに温帯低気圧に変わる。東～北日本の太平洋側では、台風本体や周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所がある。また、強い風が吹き、海上ではしけとなる所がある。東日本太平洋側では1日は、強風や高波、落雷や突風に注意。伊豆諸島では、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、竜巻などの激しい突風にも注意。北日本太平洋側では2日にかけて、強風や高波に注意。
- ③ 1項③の低気圧からのびる前線上の日本海に、1日朝までに低気圧が発生する。この低気圧は、2日にはオホーツク海へ進み、低気圧からのびる寒冷前線が、2日に東～北日本を通過する。このため、東～北日本では、大気の状態が不安定となる。また、気圧の傾きが大きくなり、風が強くなり、波が高くなる所がある。東～北日本では2～3日は、強風や高波、落雷や突風、降ひょうに注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項 [量的予報等]

- ① 雨量(06時から24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 波浪(明日まで)：沖縄6、関東・伊豆諸島5、北海道・東北4、東海3m。

5. 全般気象情報発表の有無 「台風第18号に関する情報(総合情報)」を5時頃に発表予定。